

二〇一九年度中学入試出典一覧 【広島】

(『 』は出典の本のタイトル、「 」は作品名)

出題校	著者名・作品名	文種	字数	刊行年・出版社
広島学院	相良倫子 詩「生きる」(105行)と解説文	説明文	約 2000 字	オリジナル解説文
	辻村深月 『家族シアター』「1992年の秋空」	物語文	約 3400 字	'14 講談社
修道	今野真二 『大人になって困らない語い力の鍛え方』	説明文	約 3200 字	'17 河出書房新社
	小俣麦穂 『ピアノをきかせて』	物語文	約 3700 字	'18 講談社
広島城北	はらだみずき 『ここからはじまる父と息子のサッカーノート』	物語文	約 2800 字	'18 新潮文庫
	小林朋道 『ヒトの脳にはクセがある』	説明文	約 2700 字	'15 新潮選書
崇徳(前期)	原田マハ 『スイート・ホーム』	物語文	約 2300 字	'18 ポプラ社
	増本 元 『辞書の仕事』	説明文	約 3000 字	'13 岩波新書
ノートルダム清心	渡邊十絲子 『今を生きるための現代詩』	説明文	約 2700 字	'13 講談社現代新書
	西加奈子 『おまじない』「孫娘」	物語文	約 4200 字	'18 筑摩書房
広島女学院	内田 樹 『日本の覚醒のために』	説明文	約 4800 字	'17 晶文社
	新美南吉 「おじいさんのランプ」	物語文	約 5100 字	'82 偕成社文庫
安田女子	朝比奈蓉子 『わたしの苦手なあの子』	物語文	約 2100 字	'17 ポプラ社
	角野栄子 『ファンタジーが生まれるとき』	説明文	約 1800 字	'04 岩波ジュニア新書
比治山女子Ⅰ	岩田慶治 『からだ・こころ・たましい』	説明文	約 2800 字	'96 ポプラ社
比治山女子Ⅱ (広島駅前会場)	新美南吉 「牛をつないだ椿の木」	物語文	約 2600 字	'16 ハルキ文庫
比治山女子Ⅱ (呉会場)	俵 万智 『短歌をよむ』	随筆文	約 2600 字	'93 岩波新書
広島大学附属	松井智子 『子どものうそ、大人の皮肉』	説明文	約 2700 字	'13 岩波書店
	落合由佳 『流星と稲妻』	物語文	約 3800 字	'18 講談社
近大附広島(前期)	まはら三桃 『奮闘するたすく』	物語文	約 2500 字	'17 講談社
	稲垣栄洋 『面白くて眠れなくなる植物学』	説明文	約 2000 字	'16 P H P 研究所

広島なぎさ	小嶋陽太郎 『ぼくのとなりにきみ』 金子 勝 『歴史の読み方』 「答えはひとつしかないのか」 瀧本哲志 『ミライの授業』	物語文 説明文 説明文	約 2000 字 約 900 字 約 1100 字	'17 ポプラ社 '18 ちくまプリマー新書 '16 講談社
広島国際学院	斉藤 孝 『新聞力』 橋爪駿輝 『楽しかったよね』 菅野 仁 『友だち幻想』	説明文 説明文 説明文	約 2000 字 約 2300 字 約 900 字	'16 ちくまプリマー新書 '18 講談社 '08 ちくまプリマー新書
ひろしま協創(I)	中村桂子 『科学者が人間であること』 まはら三桃 『白をつなぐ』	説明文 物語文	約 2200 字 約 2200 字	'13 岩波新書 '15 小学館
ひろしま協創(II)	森 博嗣 『人間はいろいろな問題についてどう考えて いけば良いのか』 岡田 潤 『子ども電車』	説明文 物語文	約 2000 字 約 3500 字	'13 新潮新書 '10 金の星社
山陽女学園(I)	「消費税 8%→10%へ」	報道文	約 800 字	ちゅーびー子ども新聞
AICJ(会場)	榎本博明 『正しさをゴリ押しする人』	説明文	約 2100 字	'17 角川新書
AICJ(本校1)	梨木香歩 『西の魔女が死んだ』	物語文	約 2000 字	'01 新潮文庫
AICJ(本校2)	松本仁一 「異文化の根っこ」	説明文	約 1400 字	第一学習社